



令和4年2月～令和5年1月実施

学校インターンシップ 学生受入のお願い

大阪教育大学では、実践力を備えた将来の教師を育てるため、学校インターンシップをおこなっています。本学の学校インターンシップでは、大学で学ぶ理論と学校現場での実践を結びつけ、学校現場での対応力と実践的指導力を高め、教員に必要な資質を養います。近い将来地域の教師となって、学校教育を担う人材の育成をめざします。

現在、大阪を中心とした近畿各府県下の小学校・中学校・高等学校において、学生自らの居住地域およびその近辺の学校現場で活動し学ばせていただいております。

本学学生の受入をお願いします。

学校インターンシップによって学生をこのように育てます

本学では、学校インターンシップに参加する学生に事前・事後指導および必要に応じて中間指導を行っています。学校インターンシップに参加することで、自分が抱える課題をどのように克服していくか、どのように成長していくことができるかについて、ふりかえりの重要性に着目させながら取り組ませます。

教育実習と同様、学校インターンシップを教職に就く将来世代を育てる重要なプロセスと位置づけています。

その1 理想の教師像を持たせる

学校インターンシップに参加し、先生方が仕事をされている姿を見て、学生は理想の教師像を持つようになると言われています。理想の教師像を持つことができるようになると、それが自分にとっての1つの目標になります。理想の教師像に近づくためにはどのような努力や学修が必要かを考えさせ、これまでの自分の学修をふりかえらせます。

その2 大学で学んだことと結びつけさせる

大学で学ぶ理論と学校インターンシップで経験する実践を結びつけることが大切です。教職の専門性を身に付けるためには自分の経験をふりかえり、意味づけができるようになることが重要であることを指導します。

その3 人と関わることに自信を持たせる

教職に関心を持ち教員養成課程に進学したものの、人との関わりに自信を持てず、教職への志望を迷っている学生がいます。調査結果から、その原因は、大学入学までに人と関わる経験が十分でないことと推察されています。このような学生が学校インターンシップに参加し、学校で子どもや教師と関わる経験を通して自信を持つことができようサポートします。

その4 教師志望の学生のモチベーションをさらに向上させる

学校インターンシップに参加すると教員採用試験に合格したいという動機が高まり、よく勉強するようになり、その結果試験に合格する傾向があるといわれています。教育実習だけではなく、学校インターンシップに参加して学校での実践的な学びを増やすことで、学生が希望する自治体等で教師になるという夢の実現につなげます。

学校インターンシップの概要

大阪教育大学の学校インターンシップの目的

学生が子どもや教職についての理解を深め、教師としての実践力を養うために、学校などの現場での実践的な活動の経験を充実させるとともに教育実習を補完します。

受入をお願いする学生

以下の学生の受入をお願いします。

課程・専攻・コース		回生	受入をお願いする校種
学校教育教員 養成課程	小中教育専攻	2 3 4	小学校、中学校、高等学校等
	中等教育専攻		
	特別支援教育専攻		
養護教諭養成課程			
初等教育教員 養成課程	幼児教育専攻	2	大学と学校が直接受入を調整するため、 学生の受入をお願いすることはありません。
	小学校教育 専攻		
	夜間コース 昼間コース		
			小学校等

学生が、次の条件に当てはまる学校を訪問し、学校インターンシップの受入を依頼します。

- ① 学生が居住する市町村あるいはそれを含むブロックや地域
- ② 学生の居住地と本学との通学経路上やその周辺の市町村
- ③ 教員採用試験の受験を希望する自治体

※本学から概ね片道50km程度以内の市町村に限ります。

※上記には、外国にルーツのある児童生徒への指導や人権教育に関する教育課題について体系的に学んでいる学生がおります。

活動期間と時間

活動期間	期間中の活動時間
令和4年2月～令和5年1月	60時間

※年度初めの4月より2ヶ月早め、2月から活動を開始することができるようになっています。4月・9月あるいは5月の連休明けからなど、受入校で活動開始日を設定できます。

※活動時間の計算には、1時間未満は切り捨てます。

※60時間を超えて活動の継続を学生が申し出た場合、受入の可否を学生に回答してください。本学「学校サポート活動(大学公認ボランティア)」に位置づけれます。

活動パターンと活動時間帯

活動パターン	活動時間	活動が可能な時間帯
①短期活動型	大学の春休みや夏休みなどの休暇中	概ね8時～17時
②長期活動型	大学の講義期間中の毎週特定の曜日	
③短期と長期の組合せ型	①と②を合わせた期間	

※大学での講義や教務関連行事等がある日時は学校インターンシップの活動はできません。

※新年度になると、学生の大学の時間割が変わるため、活動日時の再調整が必要になる場合があります。

費用負担

学校インターンシップは本学の学位プログラムにおける授業科目に位置づけられていますので、教育委員会や学校、本学が学生の学校インターンシップの活動に対して費用を支払うことはありません。交通費や昼食代、その他の経費は学生本人が負担します。

》活動内容

本学では、学校インターンシップの活動を次のように定めております。

大阪教育大学が定める学校インターンシップの活動

1. 学校インターンシップの内容は、受入校の管理監督下でその指示により行われる、次のような活動の補助とする。
 - (1) 各教科・領域(特別活動、自立活動)、総合的な学習の時間などの授業や活動
 - (2) 朝の学習や放課後などの時間における学習指導
 - (3) 運動会・文化祭など、学校行事
 - (4) その他、学校の教育活動
2. 宿泊を伴う活動は行わない。
水泳指導、クラブ活動、配慮を必要とする児童・生徒等への対応等も学生単独では行わない。

具体的な活動には例えば次のようなことが考えられます。

〈子どもとのかかわり〉

個性や生活背景など、多様な子どもへの理解を深め、対応力を育てます。

- 休み時間に子どもと遊ぶ
- そうじなどの作業を一緒に行う
- クラブ活動や行事などで子どもと活動する

〈教師の仕事の補助・支援〉

授業や学級指導に加え、多様な職務内容に対する理解を深め、視野を広げます。

- 子どものノートや課題提出物を整理する
- 授業で用いる教具などを準備する
- クラブ活動や行事などの準備を行う

》受入校へのお願い

学校インターンシップは教育実習とは異なりますので、教育実習のように学生の指導や評価をお願いすることはありません。

学生に出席表を持たせ、活動時間数を記録させます。60時間の活動が終わる活動最終日には、学生は活動時間の集計を行い、校長先生の署名・押印をいただきます。

出席表は紛失による情報漏えいを避けるために、活動期間中受入校で預かっていただきます。

学校へは公共交通機関を利用するよう学生に指導していますが、学校や自宅の所在地、大学への通学経路などによる事情から、自転車やバイクでの通学可否をご相談させていただく場合があります。

》本学での学生への指導・支援

本学は、学校インターンシップの開始前に事前指導を行い、活動の目標設定、個人情報の取り扱いや守秘義務、心得やマナーなどを指導します。また、活動期間中にはフォローが必要な学生を中間指導し、終了後には事後指導を行い活動をふりかえらせます。

学校インターンシップの活動期間中、学生には定期的に自分の活動状況を指導教員に報告させ、指導教員は必要に応じて指導や支援を行うほか、学生の不適切な行為などが発生した場合には、本学の教員が受入校を訪問するなどして対応します。

》誓約書の提出と保険の加入

本学は、学生に守秘義務や個人情報の取り扱いなどについての誓約書を受入校に提出させます。また、全学生に傷害保険及び賠償責任保険に加入させており、学校インターンシップの活動に係る事故等については、それらの保険を以って対応します。

》学校インターンシップと教育実習の接続

本学では、実践的な学修を継続させたいとの考えから、学校インターンシップ受入校で、学生が翌年度の教育実習の受入を依頼させていただく場合があります。

教育実習には主免許取得のための教育実習(8月下旬から10月頭までの間に3週間、3回生が実施)と、副免許取得のための教育実習(5月上旬から11月上旬までの間に2週間、4回生が実施)があります。小学校・中学校・高等学校では令和4年度の学校インターンシップと令和5年度の教育実習が接続します。

学生が教育実習の受入をお願いした場合は、実習期間や時期を確認のうえご検討いただき、学生が持参します所定の内諾可否書でご回答をお願いいたします。

内諾後は、改めて実習前年度の秋以降に大学より正式なご依頼状を送付いたします。

令和4年度学校インターンシップ実施の流れ

学校インターンシップ実施に向けての基本的な流れは次の通りです。



※1 【受入校の情報提供】(7頁参照)

下記のURLから受入情報を入力してください。

http://osaka-kyoiku.ac.jp/_file/kyomu/gi.htm

WEB入力ができない場合は、以下にE-mailで受入票をご請求ください。エクセルファイルをお送りします。

受入票請求先: 教育実践支援ルーム (担当: 今川・水本) E-mail: epsroom@cc.osaka-kyoiku.ac.jp

※2 【学校インターンシップ受入承諾書】(8頁参照)

学生が受入校に持参します。受入が決定した場合は、活動内容等を学生が記入しますので、

記入内容をご確認のうえ、学校長の署名・押印後コピーをお取りの上、保管ください。原本は学生が大学に提出します。

※3 【誓約書】(9頁参照)

学生が持参しますのでお受け取りください。

※4 【出席表】(10頁参照)

学生が持参します。最終日に出席表に学校長の署名・押印をお願いします。

※5 【教育実習の受入】(11頁参照)

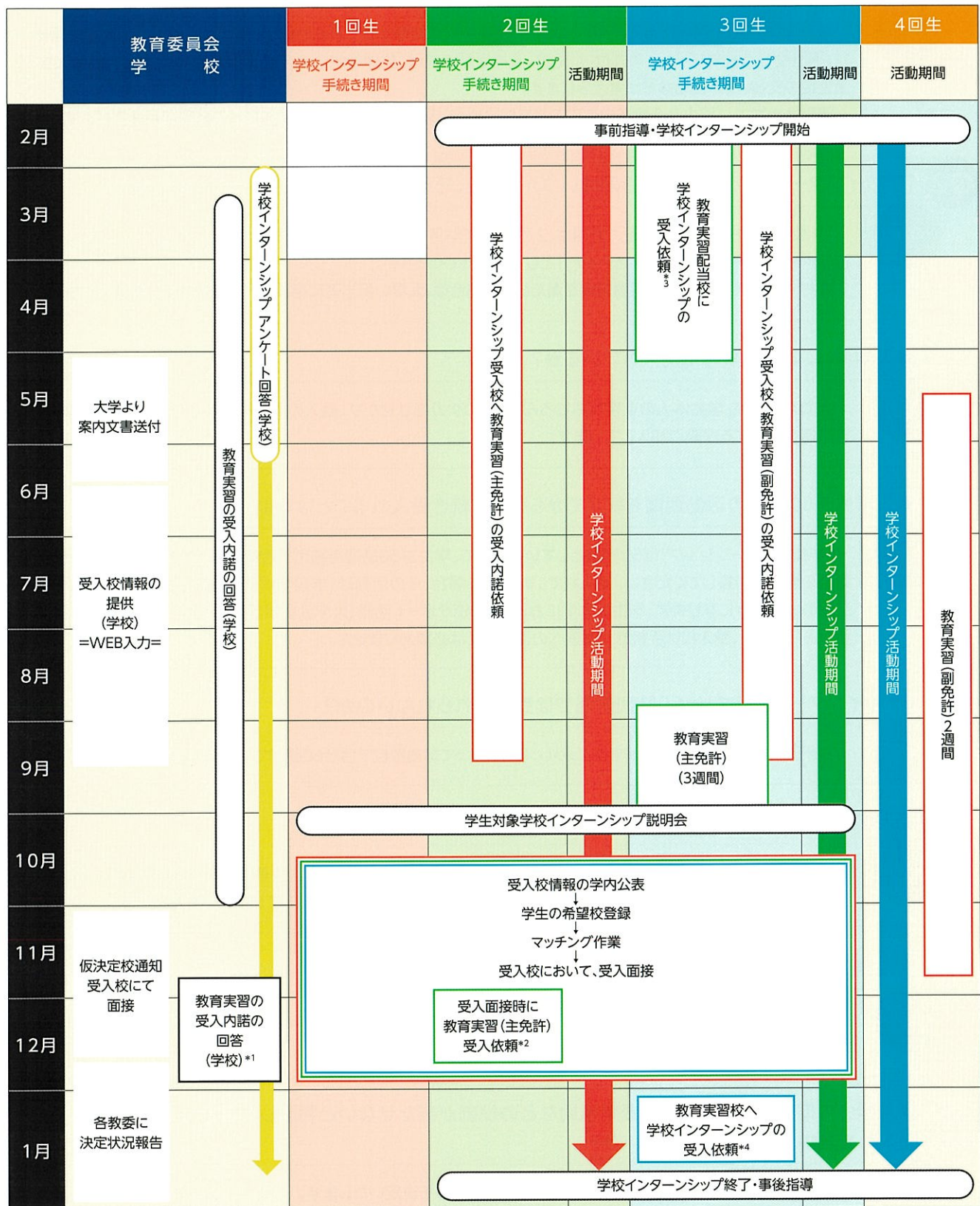
学生から受入校に教育実習の受入を依頼させていただく場合があります。

学生が「教育実習受入願」と共に提出します「教育実習受入内諾可否書」に記入・押印のうえ、

令和4年度実習の学生は令和3年12月末までに、

令和5年度実習の学生は令和4年10月末までに本学にご送付ください。

学校インターンシップ カレンダー



(注)

*1 内諾についてご検討いただき「教育実習受入内諾可否書」を本学にご送付ください。【令和3年12月回答メ】

*2 3回生実施の学校インターンシップの受入依頼時に令和4年度教育実習(主免許)の受入をお願いする学生がおります。

*3 令和4年度教育実習配当校に3回生での学校インターンシップの受入をお願いする学生がおります。受入していただける場合は「学校インターンシップ受入承諾書」を学生にお渡しください。【令和4年3月～5月】

*4 令和4年度教育実習の終了したのち、4回生実施の学校インターンシップの受入をお願いする学生がおります。

Q1. 受入学生に何をさせればよいのか？

A1.

教科指導の教員の補助、学校行事での支援、授業中配慮を要する子どもの個別支援、休み時間の子どもの見守り、提出物の点検やプリントの丸付け、給食・清掃活動の補助、放課後学習や部活動の支援・指導補助、外国人児童生徒の支援・指導補助などが考えられます。

学生は大学で、1回生から教職の基礎を学修し始め、2、3回生で各教科の指導法などの教職科目を学びます。

Q2. 「学校インターンシップ」の受入時期はいつか？ また、その時期以外で受入れることは可能か？

A2.

「学校インターンシップ」の受入時期は、2月から翌年1月までになります。その時期以外で受入れる場合は、「学校サポート活動(大学公認ボランティア)」として受入れてください。

なお、1月までに60時間の活動時間を満たさない場合は、大学の担当者に相談するよう学生にご指導ください。

Q3. 受入学生は、傷害保険等に参加しているか？

A3.

全ての学生が、学生本人の傷害はもちろん、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊させたりした場合の損害賠償を補償する保険に参加しています。

Q4. 受入学生を60時間の活動期間を終えてからも引き続き受入れることは可能か？

A4.

「学校インターンシップ」は60時間としていますので、学生が60時間を超えて活動の継続を申し出た場合、受入可否を学生に回答してください。受入れていただける場合、その活動は「学校サポート活動(大学公認ボランティア)」の位置づけになります。学生は本学において「学校サポート活動(大学公認ボランティア)」の手続きをする必要がありますが、受入校は手続きや本学への連絡などは必要ありません。

Q5. 「学校インターンシップ」は60時間未満では受け入れられないのか？

A5.

1か所で60時間の活動が原則です。しかし、事情によっては複数校で合計60時間でも認める場合があります。

Q6. 受入学生に謝金を支給してもよいのか？

A6.

「学校インターンシップ」は無報酬・交通費自己負担になっていますので、謝金等は支給しないでください。「学校サポート活動(大学公認ボランティア)」は特に制限がないので、謝金を支給していただいて結構です。

Q7. 受入学生に対する指導謝金を大学に請求してもよいのか？

A7.

「学校インターンシップ」「学校サポート活動(大学公認ボランティア)」とも、受入学生に対する指導謝金はお支払いしていません。ご了承願います。

Q8. 受入学生の態度が悪い場合や、授業補助などの役割が果たせないと判断した場合などは、受入れを途中で打ち切ってもよいのか？

A8.

大学にご相談ください。協議のうえ打ち切り又は継続等を決定いたします。

Q9. 受入学生から教育実習の受入依頼を受けたが断ってもよいのか？

A9.

断っていただいて差し支えありませんが、本学では、学校インターンシップと教育実習を接続させ、実践的な学修を継続的に行うことで、学修効果を高めようと考えています。支障のない限りご協力をお願いいたします。

学生受入票のWEB 入力について

学校インターンシップ登録フォーム

http://osaka-kyoiku.ac.jp/_file/kyomu/gi.htm

登録画面

大阪教育大学 学生受入票

柏原キャンパス【学校インターンシップ】用
学生がこの受入票を見て受入校を選びます
11月下旬以降、学生が直接学校に連絡します

設問1 本校の紹介

学校名
例：〇〇市立 △△学校

担当者職名

担当者氏名

担当者連絡先（E-mail等）

郵便番号

住所

TEL

FAX

URL

最寄り駅
例：〇〇線 〇〇駅

駅からの距離

●学校規模

通常学級（クラス数）

通常学級（人数）

特別支援学級（クラス数）

特別支援学級（人数）

●本校が力を入れている教育・研究活動、地域連携等

<記入例>（貴校で取り組まれている教育活動についてお書きください）
○本校では、児童に学び楽しさを実感させ、確かな学力と思考力を育成するために「主体的・対話的な深い学びを取り入れた 授業改善」を目指している。
○外国籍・外国にルーツを持つ児童・生徒も多数在籍し、日本語教室での指導や民族クラブの活動にも取り組んでいる。
○人権総合学習を通して、自尊感情・人権感覚がやどるよう学年ごとに課題を設定し、年間を通して取り組んでいる。 等

設問2 本校の要望

●受入期間等

☐ 長期活動型の場合

期間・曜日・時間等
例：2月～12月 毎週木曜

☐ 短期活動型の場合

期間・曜日・時間等
例：9月 運動会前 1週間程度

その他
例：長期休業中のクラブ指導補助

上記のURLを開き、必要事項を選択又は入力のうえ、最下の「送信」をクリックしてください。
確認画面が出ますので、確認のうえ最下の「この内容で送信する」をクリックしてください。

●活動内容

- ☐ 授業の補助
☐ 放課後学習の補助
☐ 運動会等の体育的行事の補助
☐ 文化祭等の学芸的行事の補助
☐ 部活動の補助

クラブ名

その他

●インターンシップ生への要望等

<記入例>

- ☐ 教員からの指示内容の活動はもちろん、子どもたちの様子を観察し、自ら働きかけ担任等と連携した対応を心掛けてほしい。
☐ 時間や曜日は相談させてもらいます。
☐ 熱意のある学生を希望します。 等

●受入可能人数

(5人を上限にご記入ください)

設問3 受入校への通学手段に関して、本学は原則公共交通機関としておりますが、それ以外に可能な通学手段がございましたらお聞かせください。

- ☐ 公共交通機関のみ
☐ 自転車
☐ 原付バイク
☐ 相談に応じる

本学では、2019年度教育実習より、可能な範囲で学校インターンシップ設問4と教育実習の接続を実施してまいります。教育実習との接続についてお聞きします。

●貴校では教育実習を受入れていますか

- ☐ 卒業生のみ受入れている
☐ 卒業生でなくても、学校インターンシップを経験した学生については受け入れる
☐ 卒業生以外も受入れている
☐ 受入れていない

●受入れている場合の受入期間

- ☐ 6月もしくはその前後
☐ 9月もしくはその前後
☐ 相談に応じる
☐ その他

送信 クリア

アンケート作成支援サービスをこちらで実施しています。

スマートアンケート
SmartResponse

WEB入力できない場合は、以下にE-mailで受入票をご請求ください。

エクセルファイルをお送りします。

受入票請求先:

教育実践支援ルーム(担当:今川・水本)

E-mail:

epsroom@cc.osaka-kyoiku.ac.jp

学校インターンシップ出席表

大阪教育大学		課程		専攻	コース
学籍番号		名前			
月 日	登校時刻～下校時刻	主な活動		活動時間数	合計
①	～	～	～	時間	時間
②	～	～	～	時間	
③	～	～	～	時間	
④	～	～	～	時間	
⑤	～	～	～	時間	
⑥	～	～	～	時間	
⑦	～	～	～	時間	
⑧	～	～	～	時間	
⑨	～	～	～	時間	
⑩	～	～	～	時間	

※活動時間は登校時刻から下校時刻とし1時間未満は切り捨てます。

大阪教育大学		課程		専攻	コース
学籍番号		名前			
月 日	登校時刻～下校時刻	主な活動		活動時間数	合計
①	～	～	～	時間	時間
②	～	～	～	時間	
③	～	～	～	時間	
④	～	～	～	時間	
⑤	～	～	～	時間	
⑥	～	～	～	時間	
⑦	～	～	～	時間	
⑧	～	～	～	時間	
⑨	～	～	～	時間	
⑩	～	～	～	時間	

以上の活動時間に相違ありません。

年 月 日

学校名

学校長名

印

年 月 日

教育実習受入願

立 校 長 様
大阪教育大学
学 校 長 様
大阪教育大学
課 程 専 攻 コー ス
学 籍 番 号 名 前 印

令和4年度実施予定の学生と
令和5年度実施予定の学生が
おります。教育実習の依
拠時期が違いますので注
意ください。

年度実施予定の 取得のための教育実習を受け入れてくださいますようお願い致します。
つきましては、貴校での教育実習の抱負を以下に添えます。

記

主免許と副免許で実習
時期と期間が違います

貴校で教育実習を希望する理由

※別添「教育実習受入内諾可否書」を返信用封筒で本学へご送付ください。
※令和4年度実施予定の学生…内諾書回答期日：令和3年 12月末まで
※令和5年度実施予定の学生…内諾書回答期日：令和4年 10月末まで

回答時期が違
な
りますので注
意ください。

教育実習受入内諾可否書

大阪教育大学
学 長 様
貴学の さんを 年度実施の教育実習生として受け入
れることについて、

令和4年度実施予定の学生と
令和5年度実施予定の学生が
おりますのでご注意ください。

- ☐ 内諾します。※
☐ 内諾しません。

年 月 日

学 校 名
学 校 長 名 印

※ 主免許取得のための教育実習期間は、8月下旬から9月末（10月頭まで可）までの3週間で
す。
※ 副免許取得のための教育実習期間は、5月下旬から11月の間で2週間です。
なお、当該学生の学修態度及び当校の教職員の異動などの事情により、内諾を取り消す場合があります。

国立大学法人
大阪教育大学

■ 学校インターンシップに関する問い合わせ先

大阪教育大学 教育実践支援ルーム(担当:今川・水本) 取扱時間:8:30~17:15(土・日・祝除く)

〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1 TEL: 072-978-3416,4034 FAX: 072-978-4018

E-mail: epsroom@cc.osaka-kyoiku.ac.jp